

*40 製炭業者の生活時間に関する一研究

滋賀県立短大 東野 道子

1 滋賀県山村の家庭に於いて、炭焼従事者である男子と、農業及び家事担当者である女子について、各人の生活時間構成と栄養摂取量を調査し、将来の生活改善の資とする事にした。

2 昭和33年8月に行い、生活時間構成に就ては、記録者が附添って、調査家庭の成年男女全員につき行った。

栄養摂取量については、実測によった。

3 生活時間構成を一括表示すれば、次表の如くである。

生活時間内容	性 別			
	老男子	男 子	老女子	女 子
睡眠時間 (分)	412.5	517.5	465.0	397.5
作業時間 (分)	534.0	548.5	517.5	876.0
その他 (分)	493.5	374.0	457.5	166.5

作業強度を目標にした上記時間調査を基にして計算せる必要消費熱量(A)と、実際の摂取熱量(B)を比較すると、男子は両者共に差は殆どないが、女子に於ては、Aに比し、Bが少い。食質は栄養学的には懸念すべき点が多々ある。就中動蛋、塩類、ビタミン等については著しい。